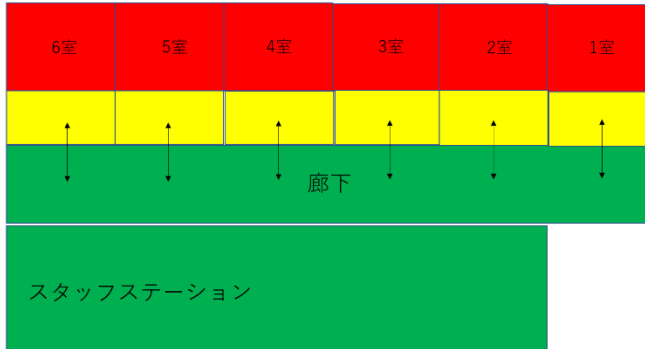


ゾーニングの基本的考え方（第1版）

2020/7/6 鹿児島県医師会 COVID-19 相談窓口

● 基本的ゾーニング



● 防護具が少ない状況などで、複数の病室を同一スタッフが診療・看護する場合



Red zone：診療エリア

必要な防護具（手袋・長袖ガウン・サージカルマスク（エアロゾル発生手技が行われる場合はN95マスク）・フェイスシールド・キャップ）を装着して入り、出るときにはマスク以外を脱衣しなければいけないエリア

Yellow zone：緩衝エリア

Green Zone：サージカルマスクのみのエリア

* 脱衣スペースは赤→黄への移動の際 no touch でいけば赤エリア、ドアを触れる必要がある場合は黄色エリアの赤エリア側などに設定

* エリアを移動する場合は手指消毒を実施

● ゾーニングのチェック項目について

- ゾーン分けの考え方が明確になっているか
- 動線の考え方（Green⇔Yellow⇔Red）が明確になっているか
- 感染防護具の脱衣のエリアが明確になっているか
- 汚物処理の動線が適切か（Greenをまたがないなど）